

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	ミュージカル
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレイアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	いっばんしやだんほうじんえーしーおーおきなわ			
制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄			
代表者職・氏名	代表理事 大城安恵		団体ウェブサイトURL	
			https://www.acookinawa.com/	
制作団体所在地	〒	902-0067	最寄駅(バス停)	安里駅
	沖縄県那覇市安里388-1-3F			
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
ふりがな				
公演団体名				
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL	
公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)	
制作団体 設立年月	平成24年11月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:大城安恵 理事:下山久 理事:大城将保 監事:半谷邦雄 会計:安里清榮(公認会計士)		芸術監督・プロデューサー:下山久 作家:嶋津与志 俳優: 田仲洋子 当銘由亮 他 制作:友利奈緒子 大城安恵 ※加入の条件: 役員の推薦により総会にて承認を得る	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く		本事業担当者名	友利 奈緒子
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者	比嘉 千賀子
本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号
	aco-g@acookinawa.com			0988871333

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>「エーシーオー沖縄は沖縄に向き合い、沖縄の心を舞台で伝えたい。」創立以来沖縄発信のオリジナル作品を次々に発表、沖縄の芸能をベースとした意欲的な作品づくりを続けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1992年「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」の企画調査で設立。</li> <li>・1995年沖縄戦後50周年企画として「洞ガマ窟」を離島を含む県内各地で公演。</li> <li>・2005年～2025年 りっかりっかフェスタ(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ)を主催。</li> <li>・2020年沖縄戦後75周年企画として「洞ガマ窟」をひめゆりピースホールで公演。</li> <li>・2022年沖縄本土復帰50周年企画として7作品「密航者」「島口説」などを上演。</li> <li>・2023年「島口説」「密航者～波濤をこえて～」 「カタブイ、1995」を東京で連続公演。</li> <li>・2024年又吉栄喜の小説「亀岩奇談」を初めて舞台化、沖縄慰霊の日に「洞ガマ窟」を再演</li> <li>・2025年戦後80周年企画として池澤夏樹の小説初の舞台化「カデナ」、外を制作上演。</li> </ul> <p>受賞歴 りっかりっかフェスタにて国際交流基金地球市民賞／受賞共同制作「カタブイ、1972」で第十回ハヤカワ「悲劇喜劇」賞／共同制作「カタブイ、1995」読売演劇大賞前半期 作品賞ノミネート</p>
	学校等における公演実績	<p>2020年 12月11日 大阪府、和歌山、滋賀県、奈良県、和歌山県、大阪市” R2文化庁 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一</p> <p>2021年 2月17日 天妃小学校5年生+特別支援学級 2月18日 天妃小学校6年生、一般公演 2</p> <p>2022年 R2文化庁 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一 10月27日 奈良県 御所私立大正小学校 10月31日 和歌山県 日高川町立寒川第一小学校 11月1日 和歌山県 和歌山市立大新小学校 11月2日 大阪府 東大阪市立玉川中学校</p> <p>2023年 R2文化庁 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一 1月20日 大阪市 大阪市立桜宮中学校 1月23日 大阪府 岸和田市立城東小学校 1月24日 大阪府 阪南市立旭小学校 1月25日 大阪府 泉南市立新家東小学校 1月26日 和歌山県 紀美野町立美里中学校 1月27日 奈良県 御所私立御所小学校 1月30日 大阪市 大阪市立義務教育学校生野未来学園 1月31日 堺市立新金岡小学校</p> <p>2024年 1月11日 沖縄県大宜味村小中学校体育館</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>平成30年度「沖縄燦燦」公演:山梨県立やまびこ支援学校 令和2年度「沖縄燦燦」公演:大阪府立西淀川支援学校／大阪府立光陽支援学校</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://vimeo.com/757105673">https://vimeo.com/757105673</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	78333

別添

なし

【公演団体名 一般社団法人エーシーオー沖縄 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	～燦燦と輝くいのちの輝き～ 沖縄版ミュージカル「沖縄燦燦」			
企画のねらい	<p>沖縄には、ユネスコ無形文化遺産である組踊をはじめ、重要無形文化財に指定された琉球舞踊、そして琉球王国の宮廷楽器として伝えられた三線など、世界に誇る伝統芸能が受け継がれています。歌舞劇「沖縄燦燦」は、琉球舞踊の所作や型を取り入れたエネルギーギッシュな踊りや、民族学者・三隅治雄が採録した古謡、三線や島太鼓の響きによって、子どもたちに生き生きとした文化体験を提供します。</p> <p>本公演は、学校教育の観点からも高い教育効果を期待できます。歴史・社会科の学びと連動し、沖縄の文化や日本の多様性を理解する手がかりとなります。音楽・芸術性においては、伝統芸能の身体表現や音楽性を実際に体験することで、表現力や感受性を豊かに育てます。さらに、作品のテーマである「命どう宝」を通じて、生命の尊さや互いを思いやる心を学び、平和的で共生的な社会を築く意識を育みます。</p> <p>「沖縄燦燦」は、単なる鑑賞体験にとどまらず、歴史・音楽・命の大切さといった多角的な教育分野を横断する学びの場となり、子どもたちが文化理解・共感力・平和意識を育む優れた企画です。</p> <p>また「沖縄燦燦」のテーマは「命どう宝」です。何気ない毎日をみなで喜び歌い、今日という1日に感謝し平和で豊かな世になりますように、という願いが込められています。この思いをぜひ多くの子どもたちと分かち合いたいと思います。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>演目概要</p> <p>「沖縄燦燦」は、モスクワ、アヴィニオン、エジンバラ、北京、上海等、国内外で2024年までに200回以上の公演を行っています。琉球舞踊をベースにした優雅で繊細な演技と、時にダイナミックな踊り、あでやかな伝統衣装の早変わりがみるものを魅了します。バイオリン、ヴィオラ、三線、パーカッションの生演奏、島唄が、働く喜び、生きる喜びを高らかに表現します。沖縄の生活情景を七景にわけた、わかりやすいストーリー展開でこどもたちへ生きる事のすばらしさを伝えます。</p> <p>演目選択理由</p> <p>沖縄燦燦は、舞台と観客が一つになって生きる喜びを分かち合う参加型作品です。近年の紛争や戦争などのニュース、過剰なSNS社会によるストレス、AIなどのテクノロジーと人間社会の間のひずみは、目に見えない形でこどもたちの心理に大きな影響を与えつつあります。これからの時代、ますます小中高生の自殺者数増加が懸念されます。沖縄燦燦のテーマは「命どう宝」であり、エンディングでは出演者とこどもたち全員で沖縄燦燦のテーマを踊り、生きていることをみなで祝い喜びを共有します。演劇を体験することは、感動体験に繋がります。そして感動体験は、こどもたちの人生を歩む力を育てます。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>沖縄の八重山諸島、竹富島に伝わる「マミドーマー」という踊りを体験します。マミドーマは、カマ・ヘラ・クワを手に持ち、農作業の様子を軽快に表現した踊りです。こどもたちは実際に小道具である、カマ・ヘラ・クワを手に持ち踊ります。</p> <p>ワークショップに参加した生徒たちがは「沖縄燦燦」公演中、出演者とともに1シーンとして「マミドーマー」を演じ舞台を体験します。また、本公演の前に全校生徒向けのワークショップも行い、沖縄燦燦のラストを全員で踊り、喜びを分かち合います。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	1名～22名（舞台上で共演する生徒）	
		鑑賞人数目安	300名	
本公演演目	<p>&lt; 演目 &gt;</p> <p>第一景：海人(漁師の三良ははるかかなた沖をめざし漁を始める。浜では無事を祈る加那の姿がある)</p> <p>第二景：みやびら商い(三良が獲れた魚をいれたかごを浜辺へ持っていきいつものように村娘たちが元気よく迎える)</p> <p>第三景：恋の島唄(夜の森の木陰。思いを伝えあう二人。女から花染めの手ぬぐいを男に渡す)</p> <p>第四景：ユイマール(助け合い。村は小さく貧しいけれどみんなで手をとり助け合う)</p> <p>第五景：にいびち(婚礼)。三良と加那の祝いの儀式。村みんなで祝いの踊りを踊る)</p> <p>第六景：豊年祭(海の向こうから豊かさをもたらす神さまがやってきた)</p> <p>第七景：沖縄燦燦(この空、この海、この島とともに、私たちは生きる)</p> <p>&lt; 脚本・演出・振付 &gt;</p> <p>脚本・演出：三隅治雄</p> <p>振付：知花小百合</p> <p>音楽：松元靖</p> <p>照明プラン：坂本義美</p> <p>舞台美術デザイン：滝善光</p> <p>衣裳デザイン：阿部美千代</p> <p>音響プラン：富山尚</p> <p>演出助手：田中瑠美</p> <p>企画・制作：下山久</p>			
原作/作曲 脚本 演出/振付	公演時間	60	分	

本公演・ワークショップの内容

	出演者	立ち方: 比嘉大志(予定) 古謝渚(予定) 上原唯(予定) 伊集春華(予定) 宮里香澄(予定)  演奏: くによしさちこ(バイオリン、ヴィオラ)(予定) 伊波はづき(パーカッション、島太鼓)(予定) 亀井美音(歌、三線)(予定)  計8名							
	演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	知花小百合:琉球古典芸能コンクール「舞踊部門最高賞」受賞 「島口説」で第57回沖縄タイムス芸術選賞 演劇大賞受賞 琉球舞踊朱日流師範 琉球舞踊保存会伝承者 琉球歌劇保存会伝承者 沖縄県立芸術大学音楽部琉球芸能専攻卒業  古謝渚:宮城本流鳳乃會、古謝徳子に師事。沖縄県立芸術大学卒業。 沖縄芝居の劇団「うない」所属。 琉球古典芸能コンクール最高賞(琉球舞踊)、同優秀賞(箏曲)  亀井美音、沖縄タイムス芸術選賞「三線部門」グランプリ受賞 琉球古典音楽演奏家・シンガーソングライター。 沖縄県立芸術大学卒業後、カナダ・バンクーバーに語学留学時、その後オーストラリア・メルボルンに長期滞在時に、地元の方の要望で三線教室を開く。 2012年～ソロ歌手としても活動を行なう。							
	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 8 名 スタッフ: 8 名 合 計: 16 名		運搬		積載量: 2 t 車 長: 6.6 m 台 数: 1 台			
	本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間			時間程度
		到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
		7:30	8:00-12:30		13:30-14:45	無	15:00-17:00	17時30分	
		※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
	本公演 実施可能日数 目安  ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月	
10月		11月		12月		1月			
		20日							
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		20日			

＜舞台規模＞  
 体育館フロアに舞台を設置する。  
 体育館が狭い場合は、体育館を横方向に設置する場合があります。  
 舞台に必要な広さ 10.8m×8.5m



沖縄燦燦で使われている曲は、  
 島々に伝わる沖縄芸能の奥深さ、  
 多彩さを掘り出して創られ、  
 舞台は沖縄の魅力に満ち溢れています。  
 沖縄の楽器である三線と島太鼓、洋楽器のバイオリン  
 による生演奏です。

エネルギーでテンポのある踊りは、琉球舞踊を  
 アレンジして作られ、振り付けの随所に琉球舞踊の特徴である  
 コネリ(手をこねるようなしぐさ)やナヨリ(なよやかな体の動き)  
 が取り入れられています。  
 踊り手は皆、幼少期から琉球舞踊を習っている舞踊家です。

衣装にもこだわり、早くは13世紀から起源を持つと言われる  
 豊かな自然風土の中で生まれ、独自の染技で育まれてきた  
 沖縄の染物「紅型(びんがた)」を取り入れています。



公演に係るビジュアルイメージ  
 (舞台の規模や演出  
 がわかる写真)

※会場条件につ  
 いて最低限必要  
 な条件がある場  
 合には、様式  
 No.4内「会場簡

著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要 否			該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 一般社団法人エーシーオー沖縄】

ワークショップの  
ねらい

琉球舞踊は、自然の恵みに感謝し、厳しい環境を受け入れながら自然と共に生きてきた人々の暮らしの中で育まれてきました。また、周辺諸国との交流を通して異文化を受け入れ、沖縄の風土に根ざした独自の発展を遂げ、今日まで大切に継承されてきています。その一つひとつの型や歌には、自然への畏敬や命への喜び、他者を思いやる心、おもてなしの精神が込められています。

本ワークショップでは、琉球舞踊の体験を通じて「恵みへの感謝」「生きる喜び」「人生を肯定する力」を体感し、心豊かに生きるとは何かを学ぶ機会を提供します。さらに、参加者が仲間と共に表現を創り上げる過程により、創造力・表現力を培うとともに、協働を通じたコミュニケーション力や社会性を育成します。こうした学びは、伝統文化の理解にとどまらず、自己肯定感や多様性への理解を深める高い教育効果をもたらします。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

全校生徒可能(本公演出演は1名～22名程度)

ワークショップ  
実施形態及び内容

標準:95分～130分

&lt;舞踊体験&gt;

沖縄文化を代表する芸能である琉球舞踊は、手をこねる動きの「コネリ」、体のしなやかな動きの「ナヨリ」など、独特の動きがあるのが魅力であり、優美で静かな形式美の古典踊り、軽快なリズムで楽しく踊れる雑踊り、雑踊りをさらに膨らませ可能性を広げた創作舞踊とがある。この踊りの特徴をそれぞれ生かしたワークショップを行う。

さらに沖縄の方言「うちなーぐち」を使い舞台の1シーンを演じる。

- ・まずは琉球舞踊の基本動作でもあり、美しさの原点でもある手の動き「コネリ」を体験。
- ・沖縄の雑踊りの曲の1つである「マミドーマ」をクワ、カマ、ヘラの小道具を使い、農村シーンをモチーフにした振付で歌って踊る。
- ・本公演に共演する生徒のリハーサル。

○ワークショップ参加生徒について

ワークショップに参加する生徒の人数について上限はありません。

各学校のご希望をお伺いし、決めて参ります。

ワークショップでは、「マミドーマ」の音楽にのって、仲間とともに働くことや収穫の喜びを歌や踊りを通して身体全体で表現し、体験します。

※本番に出演する生徒は30名以下です。

その他ワークショップに  
関する特記事項等

○本公演に出演する生徒について

ワークショップ用の小道具を持ちます。

実際の役者さんと共演しますので、本公演前に15分ほどのリハーサルの時間を設ける必要があります。

※練習用の音源(CDや歌詞カードなど)をご用意いたします。

○本公演当日に、全校生徒へ5～7分程度のワークショップを行います。

手踊りを全校生徒で踊ります。約3分程度で、とても簡単で楽しい内容です。

公演の中で全校生徒が踊れるように舞台上の出演者がアテンドします。



一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人エーシーオー沖縄 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
会場の設置階の制限	2F以上可(エレベーター必須)		主幹引き込み電源容量		120 A以上
舞台設置面積	間口	18 m	奥行	10 m	
	高さ	3 m			
舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応		不可
搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	2 m	
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否		有無のみ確認したい
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		30 m以内
搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台	
搬入車両の大きさ	車幅	2.2 m	車長	6.3 m	
備考	ステージは楽屋として使用いたします。搬入個所は体育館横もしくは表、どちらでも大丈夫です。本番公演中はチャイムの音が鳴らないようお願いできれば幸いです。トラックもしくはハイエース3台予定です。				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	90分～130分程度(人数によります)	本公演とは別日で事前にスケジュールを調整。	沖縄の雑踊りである「マミドーマ」を体験します。(体験人数と本番公演へ出演する人数は一緒でなくても大丈夫です。)	一部の児童・生徒が授業を抜けてリハーサルを実施します。本公演に出演する生徒は22名以下でお願いいたします。
ワークショップ	鑑賞対象となる児童・生徒全員	10分程度	本公演前(公演当日)	全校生徒へ手踊りとわらべ歌をレクチャー。本公演中にみんなで参加します。	事前に歌詞をお渡しいたしますので配布をお願いいたします。	
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	30分～45分程度	本公演前(公演当日)	小道具を持って本番公演へ出演いたします。本番公演前に30分ほどリハーサルを行います。	出演される生徒のみなさんの参加をお願いいたします。	
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

会場簡易図面	(任意)	会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。		
		※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。		
	「 体育館 舞台 」 パネル	舞台袖	体育館の舞台	舞台袖
		スペースの確保が必要	設置舞台 18m 10m	スペースの確保が必要
			2m	
	体育館 フロア			
		鑑賞位置		
			間口 後方 トラック 前方	

フロア使用時

別添

なし

【公演団体名 一般社団法人エーシーオー沖縄】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

本作品のテーマは「生きる喜び」です。  
舞台の鑑賞やワークショップの体験をとおして、仲間と一緒に感動体験を共有することにより、子どもたちの友情と連帯感や自己肯定感、想像力、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育むことを目指します。  
子どもたちにとって演劇は、創造力や想像力を育む重要な機会です。単なる鑑賞機会の提供としての上演に留まらず、教育的要素を意識した事業を目指します。  
また、異なる地域や文化に出会うことは、子どもたちが「違い」を理解し受け入れる力を養い、多文化共生の意識を育てる大切な学びとなります。こうした体験を通じて、自らの文化を誇りに思うと同時に、他者を尊重し共に生きる姿勢を育むことを実現したいと考えています。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

- ・どの子どもたちも物語を容易に理解できるよう、シンプルでわかりやすい構成が大切です。「沖縄燦燦」は明快なストーリーテリングで言葉を使わないため、どの子も皆楽しめる内容です。さらに、視覚的な要素を活用し、カラフルな衣装やダイナミックな動きなど、視覚的に興味を引く演出を取り入れています。
- ・全力で踊り、喜びと楽しさを伝えます。演劇の楽しさや感動を子どもたちに伝えるためには、演じる側がまずその魅力を心から感じている必要があります。情熱を持ったパフォーマンスは、演者の熱意を感じ取ることができ、全力で演じることで、子どもたちに深い印象を与え、演劇の素晴らしさを共有できます。
- ・ワークショップでは、簡単な振付や歌を仲間と共に体験し、共同で小さな成果発表を行うことで友情や連帯感を培います。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【学校との連絡調整について】

学校との連絡を密にとり、事前に生徒たちの状況を把握します。  
具体的には、ワークショップ台本を作成し、事前に確認事項を各学校へ送ります。  
本公演の下見、打ち合わせをワークショップ時に行います。  
また、ワークショップの台本と一緒に本公演の舞台設営についてや、設置例の図面、生徒たちの発表の流れを記載した台本も送り、担当の先生たちと意見交換し、内容の共有を行います。  
生徒たちの状況にあった、わかりやすい指導方法と公演形式をご担当の先生とともに考え準備、円滑に実施いたします。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

- ・生徒とのコミュニケーションを大切にします。直接的な対話を通じて、彼らの反応や感想に耳を傾けます。
- ・ワークショップでは、成果や上手さを求めるのではなく、生徒一人ひとりが「やってみる」「やってみよう」と感じられる体験を重視します。振付や動きは一律に正解を示すのではなく、自由に表現できる余白を残し、生徒たちの発想を尊重します。また、失敗や戸惑いを否定せず「挑戦できたこと自体」を肯定的にフィードバックすることで、自信と自己肯定感を育みます。さらに、友達と一緒に体験する楽しさを大切に、協力や共感を自然に学べるようにします。経験を積み重ねることが心の栄養となり、創造力や想像力へとつながっていくことを目指します。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

- ・鑑賞体験をきっかけに、琉球舞踊や三線、古謡の歴史を調べたり、地域に伝わる祭りや芸能と比較したりすることで、文化の背景を知る学びへと広がります。学校の社会科・音楽科の授業とも連動しやすく、地域文化の多様性理解につながります。
- ・日本の中にも地域ごとに様々な文化が根づいています。他地域の文化を調べたり交流したりする活動に発展させることができます。違いを理解し尊重する経験を重ねることが、子どもたちの共感力や平和意識の継続的な育成につながります。